

# 2011 SAVAS ジャビットカップ

## チャンピオン大会開催概要(案)



読売巨人軍

平成 23 年 6 月 24 日現在

## 【大会の目的】

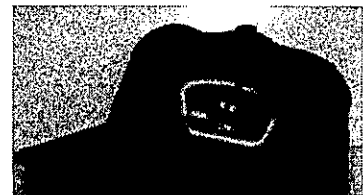
SAVASジャビットカップは「親善と交流」をテーマに、フェアプレーの精神に基づきマナーの良い野球愛好者を育てることを目的としています。また、各連盟間の交流の中で情報交換や審判員の技術向上を図るなど、より良い少年野球環境を作るための大会を目指しています。

## 【大会要項】

- 本大会 2011SAVASジャビットカップチャンピオン大会
- 主催 読売巨人軍
- 共催 読売新聞東京本社、報知新聞社
- 後援 東京都、中央区、江東区、文京区、杉並区、調布市、  
稲城市教育委員会、東京ドーム、ベースボール・マガジン社
- 主管 ジャビットカップ実行委員会
- 特別協賛 株式会社 明治
- 協賛 アディダス ジャパン株式会社、株式会社シミズオクト
- 協力 ナガセケンコー株式会社
- 開会式 8月19日(金)午前10時開始(東京ドーム)
- 大会期間 8月20日(土)～決勝9月10日(土)午前9時(東京ドーム)
- 参加 49代表チーム(46連盟、1協会、1協議会、1スポーツ少年団)
- チーム数 1,150チーム
- 参加費 10,000円(参加チーム負担)
- 競技方法 トーナメント形式
- 監督会議・抽選会 7月30日(土)午後3時開始 明治京橋ビルB1ホール
- 試合規則 2011年度公認野球規則、競技者必携2010及び大会約款他
- 会場 決勝・東京ドーム、準決勝・ジャイアンツ球場、明治グラウンド 他
- 表彰 優勝(カップ、盾、賞状、メダル) 準優勝、三位(盾、賞状、メダル)  
その他副賞

## ■ 大会ワッペン

大会ワッペンは帽子の左側(下部1cm)に縫い付けてチャンピオン大会に出場し、大会終了後にはワッペンを速やかに取り外すようにして下さい。



位置

■大会事務局 読売巨人軍振興部野球振興室 福王昭仁、児玉英一、○高梨慎一

TEL:03-3246-2709 FAX:03-3246-2725 E-mail: takanashi@giants.co.jp

開催情報(携帯サイト) <http://www.giants-academy.jp/m> を入力 → 「イベント情報」

## 【大会役員】

会 長	読売巨人軍 代表取締役才一十一・社長	桃井 恒和
副 会 長	読売巨人軍 専務取締役球団代表	清武 英利
	読売新聞東京本社 取締役事業局長	久保 博
	報知新聞東京本社 事業局長	羽賀 求
実行委員長	川崎市麻生区少年野球連盟 会長	小林 時治
副実行委員長	読売巨人軍 振興部長	鈴木 文介
大会役員	諸田弘幸、高橋道義、平田吉之助、黒葛原 浩、本田文弘、渡辺英之、坂下 修、青山峯一、国枝忠夫、佐藤憲司、小野田 満、鈴木昌二、長谷川俊一、島崎 進、加納 昭、関根靖俱、立原道夫、坂本好男、渋谷 稔、和田 勝、高島直樹、猪野猶人、上野忠利、丸山徹也、志村 寛、相馬和紀、清水 怜、長谷部建治、中村良一、室井陽三、羽山順章、小川展夫、太田貞雄、福本道夫、高橋誠一、山本芳男、千陽雅尋、上出英司、末廣 悟、箕浦正敏、勝山正俊、高島美秋、中田大作、高杉秀夫、小泉良司、村瀬正憲、小川朝昭、土谷清彦	
実行委員	柏原八重、権藤修一、秋山孝之、飯島隆夫、高橋信生、左治木徹、染谷清志、河村正一、丹野雄二、中田啓一、淵 良一、渡辺孝介、小林勝政、鐘ヶ江至徳、浅田憲典、谷津廣文、房田 豊、今井統一、梅津東司、増田成典、菅野孝之、遠藤英幸、島村良雄、渡辺 力、吉水 清、笠原誠一、成田和雄、川和健太郎、菅沼 洋、桑田 泰、柳原光雄、佐藤 真、石川 仁、杉本昭正、土居敏郎、村田哲与、青柳博雄、村野 仁、田倉由雄、小林宏彰、柳原和弘、杉沼健吾、坂本智則、濱中 功、大島 建、古川 実	
審判部長	林 慎一	審判副部長 内村澄弘
審判技術委員	天野雄二郎、藪下七之佑、加藤清太郎、小林誠一、大庭巖雄、友部宗男、勝毛信一、竹内時夫、酒井晴正	
審判部	大貴俊隆、富田 修、大曾根一雅、加藤武夫、関根大悟、安藤勝一、今野忠男、宇田川武男、岩崎 彰、石毛孝雄、門脇 正、佐瀬正治、牧野勝彦、網谷吉博、西川 強、林 稔、須賀美明、津秦光吉、小林幸夫、松井 清、加藤 稔、佐藤晃司、鈴木やすし、高橋春夫、林 弘芳、矢野 實、木村恭輔、上原紀洋、伊藤雅一、齋崎 泉、富田 博、須藤利三、吉田 実、松浦一成、水野直人、工藤 勇、江川潔司	

**【参加連盟・協会・協議会】**

千代田区少年野球連盟	川崎市麻生区少年野球連盟
中央区少年野球連盟	川崎市宮前区少年野球連盟
港区スポーツ少年団	川崎市多摩区少年野球連盟
新宿区少年軟式野球連盟	八王子少年軟式野球協議会
文京区少年軟式野球連盟	立川市少年野球連盟
台東区少年軟式野球連盟	武蔵野市少年野球連盟
墨田区少年野球連盟	三鷹市少年軟式野球連盟
江東区学童少年軟式野球連盟	青梅市少年軟式野球連盟
品川区少年野球連盟	府中市学童野球連盟
目黒区少年軟式野球連盟	昭島少年野球連盟
大田区軟式野球連盟	調布市少年野球連盟
世田谷区軟式野球連盟少年・学童部	町田市少年野球連盟
渋谷区軟式野球連盟少年部	小金井市少年軟式野球連盟
中野区少年野球連盟	小平市学童軟式野球連盟
杉並区学童軟式野球連盟	日野市少年軟式野球連盟
豊島区少年野球連盟	東村山市少年軟式野球連盟
北区少年野球連盟	国分寺市軟式野球連盟少年の部
荒川区少年野球連盟	国立市少年野球連盟
板橋区・志村少年軟式野球連盟	狛江市少年野球連盟
練馬区学童野球連盟	東久留米市軟式野球連盟
足立区少年軟式野球連盟	多摩市少年野球連盟
葛飾区少年軟式野球連盟	羽村市少年野球連盟
江戸川区学童少年軟式野球連盟	西東京市軟式野球連盟少年部
稲城市軟式野球連盟	瑞穂町少年野球連盟
	東京都三多摩少年野球協会

## 【開会式】

午前 8時30分	大会役員、及び実行委員集合
9時00分	東京ドーム22番ゲート前集合 チーム受付開始
30分	グラウンド入(1塁側・連盟役員、3塁側・監督・コーチ、ライト側・選手)
10時	開会式入場行進
11時	終了予定 (注)選手はユニフォーム着用、チームプラカード持参

## 【大会日程】

7月30日(土) 15:00	連盟代表者、監督会議(明治京橋オフィスB1ホール) 大会概要及び注意事項説明、抽選会
8月19日(金) 10:00	開会式 東京ドーム 9時受付開始 パンフレット配布
20日(土) 9:00	中央区月島運動場B 中央区 " C 中央区 調布基地跡地A4 調布市 " D3 調布市
21日(日) 9:00	文京区目白台東面 文京区 " 西面 文京区 江東区夢の島5面 江東区 " 6面 江東区
27日(土) 9:00	明治グラウンド 多摩区、宮前区 稲城中央公園 稲城市、麻生区 杉並区和田堀公園A 杉並区 " B 杉並区
28日(日) 9:00	明治グラウンド 多摩区、宮前区 稲城中央公園 稲城市、麻生区
9月 3日(土) 13:00	ジャイアンツ球場 麻生区、宮前区
4日(日)	予備日
10日(土) 9:00	決勝 東京ドーム 大会実行委員

## 【試合結果と当日の開催状況】

当日の開催情報はジャイアンツアカデミーの携帯サイトにアップします。電話での連絡は流しませぬので、前日夜と当日朝、下記の携帯サイトで必ずご確認下さい。また、過去のデータが表示されていることがありますので「更新」ボタンを押して下さい。

携帯 → 「インターネット」を選択 → 「<http://www.giants-academy.jp/m>」を入力 → 「イベント情報」を選択 → 「詳細はコチラから」を選択 → 開催状況を確認

## 【フォトサービス】

各会場での試合の様子を(株)フォトクリエイトが撮影し、インターネットで販売いたします。(インターネットのURLとパスワードは別紙広告をご覧ください)

撮影を希望されないチーム、及び選手は開会式前日までに事務局に申し出て下さい。

## 2011 SAVAS ジャビットカップチャンピオン大会約款

本大会はアマチュア規定、及び公認野球規則 2011、競技者必携 2010 を適用し、下記の大会約款と各会場でのローカルルールを優先する。

- ① 審判技術委員 当該審判員が裁定に苦しむときや規則適用の誤り、監督などのアピールに対して審判技術委員が協議に加わり直ちに解決する。
- ② 試合イニング 試合は7回戦とするが、試合開始後1時間30分(決勝は2時間)を経過したらそのイニングを最終回とし、均等回の得点で勝敗を決める。勝逃げ禁止ルールは適用しない。
- ③ コールドゲーム(決勝戦は採用しない) 5回終了時以降7点以上の得点差がついた場合はコールドゲームとする。
- ④ 特別継続試合 試合が5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、及び5回を過ぎて同点で試合が中止になった場合(正式試合でタイゲーム)は再試合にはせず、後日継続試合として行う。
- ⑤ 特別延長ルール 7回完了、若しくは試合開始から1時間30分を経過して同点の場合は特別延長戦を行う。前イニングの最終打者を一塁走者。その前の打者をそれぞれ二塁、三塁の走者とし、無死満塁の状態で行う。特別延長戦は1イニング行い、その時点で勝敗が決定しない場合は、もう1イニング同じ条件で行う。それでも勝敗が決定しないときは抽選で勝敗を決定する。但し、大会運営上、特別延長戦を行うことが難しいと本部が判断した場合は抽選で勝敗を決定する。
- ⑥ 出場資格 各地区大会で優勝した単独チーム。但し、優勝チームが主催者の指定する4大会(関東ガスワンカップ、NPB関東大会、関団連関東大会、横浜銀行杯)に出場する場合に限り、準優勝チームの出場を認める。また、選手は当該チームで地区大会に最低1試合ベンチ入りした者とする。(地区大会登録後の選手補強は認めない)
- ⑦ ベンチ入り ベンチ入り出来る者は事前に登録されたチーム引率者(代表者)、監督、コーチ2名、スコアラー1名、マネジャー1名と、選手20名以内とする。但し、水分補給を補助するための要員(保護者)として2名のベンチ入りを認める。また、代表、スコアラー、マネジャー、補助要員はチーム帽子とウエア等(ユニフォーム以外)を着用する。なお、試合前の練習とシートノックは指導者が行い、投手の捕球は選手が行う。
- ⑧ 使用球 (財)全日本軟式野球連盟公認球(ナガセケンコーC号)とする。
- ⑨ 用具等 試合中打者、走者、次打者、ベースコーチは公認の両耳付きヘルメット、捕手は公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメットを着用する。金属、ハイコンバットは公認マーク入りを使用し、監督、コーチ、選手は同一のユニフォームを着用する。
- ⑩ ダブルヘッダー 2011年度は全日本軟式野球連盟の学童に関する連投禁止ルールを適用しない。但し、指導者は投手の肩、肘の障害を予防するために細心の注意をする。

- ⑪ マナー ベンチ、及びスタンドでは笛や太鼓などの鳴物の使用を禁止(監督のみメガホン可)し、相手チームへの野次や挑発的な行為はしない。同類の行為を続けた場合はチーム責任として監督を退場とする。また、各チームでゴミ袋を用意し、ゴミは持ち帰る。
- ⑫ その他
- (1) ベンチは抽選会で決定した組み合わせ番号の若いチームを一塁側とし、試合前のシートノックは後攻のチームから各5分間とする。
  - (2) 監督・主将は前の試合開始後60分を経過するか、5回終了時までには試合会場本部にメンバー表(4枚)を提出し、球審立会いのもと両チーム主将で攻守を決定する。試合終了後、両チームの指導者はグラウンド整備を手伝うものとする。
  - (3) 次試合バッテリーは前の試合開始後60分を経過するか、5回終了以降にグラウンド内で投球練習を行うことができる。
  - (4) 投手の準備投球は、初回6球以内とし、次回からは3球とする。
  - (5) 両チームの指導者は試合終了後にグラウンド整備を行うものとする。
  - (6) 本大会参加者は全員「スポーツ安全保険」に加入する。また、大会中の事故には同保険の範囲内でのみ対応される。

### チャンピオン大会ルール確認事項

- ① 捕手又は野手が、あらかじめ塁線上及びその延長線上の塁上に位置して(足または脚を置いて)送球を待つことを禁ずる。違反した場合はオブストラクションとなる。  
アマチュア規定内規(規則適用上の解釈)⑦オブストラクションの厳格適用  
「公認野球規則」7・06【付記】
- ② 打者がなんらかの動作によって、捕手の守備または送球を妨害したと見做された場合、打者は反則行為でアウトになる。  
「公認野球規則」6・06 C
- ③ 「クイックリターンピッチ」打者の虚をつくことを意図した投球(イリーガルピッチ)をいう。これは反則投球(ボーク)である。  
「公認野球規則」2・64
- ④ ボークルールの目的は投手が走者を意図的に騙そうとするのを防ぐためであることを、審判員は心に銘記し、投手の「意図」に疑いを抱いたら、審判員は規則を適用する。  
「公認野球規則」【8・05 原注】
- ⑤ 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すなどの遅延行為のタイムは認めない。  
「競技者必携」競技運営に関する連盟特別規則 10
- ⑥ 捕手または内野手が一試合に投手の所に行ける回数を、7回の試合では3度以内とする。(延長は2回に1度)  
「競技者必携」競技運営に関する連盟特別規則 13
- ⑦ 打者がインコースの投球を避ける動きをしながら当りにゆく行為には、デッドボールを適用しない。  
「競技者必携」競技運営に関する連盟特別規則 15